

分水嶺

異動で4年半ぶりに戻ってきた岐阜市。かつて通ったいくつかの居酒屋は残っているだろうか▼赴任初日、仕事もそこそくに夜の柳ヶ瀬周辺を歩いてみた。店の名前が変わっていたり、空き家になっていたりする店も多く、やはり時の流れを感じる▼東日本大震災の年に店主が亡くなり空き家になっていた居酒屋もきれいな民家に建て替わっていた▼入社当初に店を訪れたら、初対面ながら呼び捨てで名前を呼ばれた。「先輩と時間を約束したなら絶対に定刻前に来い」みんなでささやかに飲んでる会合で一人だけ料理を食べまくるな」。強烈に聞こえた言葉も、善かれと思つての叱咤激励だったと、今では胸に染み入る▼入社式を終えた新入社員が社会人のスタートを切った。「新しい価値を創ろう」(十六銀行)「大切なのは人間力」(パロー)。県内企業のトップの訓示を伝える紙面には挑戦や成長を求める声が並ぶ。激変する企業環境の中、売り手市場で獲得した「新鮮力」に求める期待は大きいはずだ▼新生活に身が引き締まる一方、不安や戸惑いもあるだろう。この先は必ずしも穏やかな春の日ばかりではないが、厳しくても支えてくれる人を信じて前を見よう。破天荒だった店主なら言つに違いない。

2018 4.5